

## 会員の皆様へ

### 1. 1998-1999年度の執行部体制と事務局の移転について

次期執行部として、名古屋大学農学部の山内さんが会長、大阪府立大学農学部の大門さんが副会長、名古屋大学農学部の矢野さんが事務局代表に決定いたしました。その他の評議員の方々は、右ページのとおりです。評議員の方々の連絡先などは、「根の研究」第7巻1号に掲載する予定です。

執行部の交代に伴い、根研究会の事務局が東京大学農学部から名古屋大学農学部に移ります。連絡は、事務局代表の矢野さんまでお願い致します。連絡先は以下のとおりです。

---

〒464-01 愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学 農学部 作物科学研究室

矢野勝也

TEL:052-789-4024, FAX:052-789-5558

E-mail:kyano@nuagr1.agr.nagoya-u.ac.jp

---

### 2. 会費値上げについて

主として事務局の負担軽減のための人件費を確保する目的で、1998年度より、個人会員・団体会員ともに1,000円の値上げをさせていただきます。値上げした後の年会費は個人会員が3,000円、団体会員が8,000円となります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 3. 第8回根研究集会について

11月22日に金沢市で、金沢大学の鯨さん、石川県 農業短期大学の井村さん、遠藤さんにお世話なり、第8回根研究集会を開催致しました。口頭発表、ポスター発表の他、今年度の根研究会賞の授賞式と受賞記念講演もありませんでした。今年から、根研究会特製のトレーナー（非売品）が副賞となりました。昨年度の根研究会学術功労賞を受賞された東北大学遺伝生態研究センターの高橋秀幸さんもちょうど研究集会に参加されておりましたので、1年遅れで副賞を差し上げました。また、今回から研究集会の会場のみで根研究会特製のトレーナーを1枚2500円で販売することになりました。このトレーナーは千葉大学大学院の赤坂庸子さんのデザインによるもので、懇親会の席上、デザイナーによる特別サイン会が開かれました。なお、長年に渡り事務局代表としてご尽力頂きました阿部さんに懇親会の場をお借りして、副賞なしの感謝状を贈りました。

#### 4. 第9回根研究集会について

1998年6月6日から7日にかけて、愛知県内で合宿形式の第9回根研究集会が開催される予定です。詳細は「根の研究」第7巻1号でお知らせいたしますが、それまでは事務局の矢野さんへお問合せ下さい。

#### 5. お礼

今期の執行部は、今月末をもちまして任期満了となります。2年間に渡る会員の皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

なお、個人的には4年間、会長不在の最初の2年間を含めると6年間に長きに渡って(長すぎたという声もあります)会長あるいは研究会代表を務めさせていただきました。この間、役員および会員の方々には絶大なご支援とご協力を頂きました。お陰様で根研究会が発展してすることができたものと、心より感謝申し上げます。公約としてかかげました一般会計の赤字を解消することと、事務局の仕事を整理・簡素化して他へ引き継いで頂ける形にすることも、事務局代表の阿部さんの協力を得て実現し、次期の執行部をお願いすることができました。次期は、山内・大門という強力体制が実現いたしますので、前例に捕らわれることなく、研究会をさらに発展させていかれることを期待しております。

1997年12月 会長 森田茂紀

---

### 1998—1999年度の体制

山内章新会長から、下記の方々に評議員をお願いし了解を得ております。さらに何名かの方をお願いする予定です。評議員・会計監査に立候補、あるいはご意見などありましたら、山内さんまでお知らせ下さい。

新役員の方々のプロフィールは次号に掲載の予定です。

- <会長> 山内 章 (名古屋大学農学部)
- <副会長> 大門弘幸 (大阪府立大学農学部)
- <評議員、事務局代表兼任> 矢野 勝也 (名古屋大学農学部)
- <評議員> 阿部 淳 (東京大学大学院農学生命科学研究科)、有馬 進 (佐賀大学農学部)、原田 二郎 (大阪府立大学農学部)、波多野隆介 (北海道大学農学部)、平野 繁 (東京農業大学農学部)、平沢 正 (東京農工大学農学部)、一井眞比古 (香川大学農学部)、岩間和人 (北海道大学農学部)、飯嶋盛雄 (名古屋大学農学部)、唐原一郎 (富山大学理学部)、川島長治 (秋田県立農業短期大学)、小葉田亨 (島根大学生物資源科学部)、鯨 幸夫 (金沢大学教育学部)、松尾喜義 (野菜茶業試験場)、松浦朝奈 (九州東海大学農学部)、南 基泰 (国立衛生試験所筑波薬用植物栽培試験場)、森田茂紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科)、新田洋司 (高知大学農学部)、大江真道 (大阪府立大学農学部)、高橋秀幸 (東北大学遺伝生態研究センター)、谷本英一 (名古屋市立大学自然科学研究教育センター)、巽 二郎 (名古屋大学農学部)、俵屋圭太郎 (山形大学農学部)、辻 博之 (農業研究センター) 山下正隆 (九州農業試験場)